

【なつめやし（デーツ）は本当に聖書に出てくるのか？

（デーツが聖書と千一夜物語に出てくる話）（2020年5月28日掲載）

誰もが聞くアダムとイヴ（聖書協会共同訳では、「エバ」と綴られている）は、旧約聖書の創世記 2.17 に出てきますが、神が食べてはいけないと言った禁断の実とは、実際には「善悪の知識の木」の実と表現されており、具体的な植物名はでておりません。ちなみに、それを食べた後、目が見えるようになって裸に気づいた彼らは、腰に巻くものをいちじくの葉で作りました。

聖書に出てくる食べ物ですが、モーセ五書では、パンの頻度が圧倒的で、次に頻度の多いものとしては、オリーブの油（&オリーブ）、ぶどう酒（&ぶどう）です。

我々が気になるその他の果実やナッツは？ という以下通りです。

なつめやし（デーツ）ありました！ 大昔から食べられているんですね。

また、歴代誌下 28.15 には、「なつめやしの町エリコの彼らの同胞のもとに・・・」と書かれているのですが、現在のイスラエルの死海の北端からすぐ北側に Jericho という町があります。実際に、その地域はなつめやしの畑がたくさんあり、弊社が輸入販売を行うイスラエル最大のデーツサプライヤー [HADIKLAIM 社](#) の工場もその近く（Beit Ha' arava）にあります。

食べ物の名	書かれているところ
なつめやし	出エジプト記 15.27、民数記 33.1（出エジプト記の内容を繰り返している） ”こうして、彼らはエリムに着いた。そこには泉が十二、なつめやし七十本あった。” と書かれており、エリムの場所は、今で言うところのエジプトのシナイ半島の西海岸、アスルに近い。 ※食べ方は書いていない（生鮮か干したものかは分からない）
いちじく	民数記（13.23、17.23）、申命記 8.8
干ぶどう	民数記 6.3
ざくろ	民数記（13.23、20.5）、申命記 8.8
すいか	民数記 11.5
アーモンド	創世記 30.37、民数記 17.23
ピスタチオ	創世記 43.11

※モーセ五書の時代の順番は、創世記 → 出エジプト記 → レビ記 → 民数記 → 申命記

ついでながら、同僚から聞いた話ですが、ディズニー映画の「アラジン」(Chapter 5 17分くらい)で、市場の売り子がお姫様に向かって「ナツメヤシにイチジク、ナッツ買うならピスタチオ」(Sugar date, Sugar dates and figs. Sugar dates and pistachios) と言っていたとのことでした。(後で確認しました。)

「これはスゴいっ！」と思って、ガラン版千一夜物語（アラビアンナイト）を読んでもみると、そのような場面は書かれていませんでした。（「干した果物」という表現はあったのですが、書かれている場面を記録するのを忘れてしまいました。）

ガラン版のこの物語を語った人は、ハンナ・ディヤーブというアレppo出身のマロン派キリスト教徒のようですが、そういう意味では、本のほうが信仰に影響して出てきてもいいのでは？とも思いました。

ちなみに実写版『アラジン』の冒頭部分では、アラジンが盗んだ宝飾品をデーツ 1 袋と交換し、相棒のアブーに渡す場面が出てきます。（最終的には子供にあげています。）

それにしても、物語に深く関係することではないのに、ディズニー映画でこの場面を作った理由が知りたくなりました。

※ガラン版では、「アラジン、もしくは不思議なランプの話」というタイトルで、中国での出来事として描かれています（ディズニーでも、空飛ぶ絨毯で旅行？をしているとき、万里の長城がでます）。結末は同じですが、ストーリーはだいぶ違うので、両方楽しめます。

※デーツについての過去の記事はこちらご参照ください。

・ [デーツ・・・神秘的なオアシスの恵み（2012年8月23日掲載）](#)



株式会社 三海（サンカイ）

〒101-0021

東京都千代田区外神田 5 丁目 4 番 9 号 八二-外神田第二ビル 1F

TEL : 03-3834-1756 FAX : 03-3834-1750